

2025 年 6 月 20 日
加賀市
北陸電力株式会社
株式会社加賀ふるさとでんき
北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

加賀市公共施設における農業用ため池を活用した 太陽光発電オフサイト P P A の導入

加賀市、北陸電力株式会社（以下、北陸電力）、株式会社加賀ふるさとでんき（以下、加賀ふるさとでんき）は、この度、加賀市内の農業用ため池を活用した太陽光発電オフサイト P P A^{※1}（以下、オフサイト P P A）を締結いたしました。この取り組みは、北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社が、加賀市内の農業用ため池に水上メガソーラーを開発し、そこで発電された再生可能エネルギー由来の電力を北陸電力、加賀ふるさとでんきを通して、加賀市公共施設に供給するものです。

今回の取り組みは、環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した「加賀市版 R E 1 0 0^{※2} 域内リードプロジェクト事業」として、加賀市と北陸電力グループが連携して取り組んできた事業のひとつです。

加賀市公共施設において、オフサイト P P A 導入は初の取り組みです。また、水上ソーラーを活用したオフサイト P P A は、北陸電力グループとして初の取り組みとなります。

今後も、加賀市と北陸電力グループは、加賀市内での再生可能エネルギー電源の開発やエネルギーの地産地消を通じて、更なる CO2 排出量削減を推進し、加賀市版 R E 1 0 0 の実現および地域社会の持続可能な発展に向け、取り組んでまいります。

※1：PPA は Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略で、オフサイト PPA は、電力需要場所から離れた場所に太陽光発電など再生可能エネルギーの電源を設置し、小売電気事業者などを通じて需要家に電力を供給する仕組みです。

※2：加賀市版 RE100 は、公共分野、民生分野を問わず、加賀市内におけるエネルギー需要（地消）を 100% 地域で生産した（地産）再生可能エネルギーで賄う「市内エネルギーの地産地消」により、「脱炭素」と「地域内経済循環」の同時実現を目指す取組です。

■加賀市内の農業用ため池（琵琶ヶ池）に設置する水上メガソーラーのイメージ図



■オフサイト PPA スキームおよび概要



供給先	加賀市公共施設 24 口（加賀市庁舎、小中学校等）
電源所在地	琵琶ヶ池（石川県加賀市潮津町）
太陽光パネル容量	約 1,000 kW
年間発電電力量	約 120 万 kWh（一般家庭約 430 世帯分）
C O 2 削減量	約 520t/年
サービス提供開始日	2026 年 3 月 1 日（予定）

以上